

おやつのかん3 -ちょっとひとやすみ-

—少しずつの移り変わり—

NO. 118



「ありがとうございました」って口にする事が多くなる季節ですね。同じ場で一緒に過ごし、伝えたり伝えられたり、教えたり教えられたり、頼ったり頼られたり、みんなが感じる気持ちだと思います。子ども達と一緒に過ごす中で、“こんなふうにしていくといいよ”と伝えているように見えて、じつは子ども達に助けられていることがたくさんあります。働きかけたことに、その子が応じてくれて一つの場面が出来上がったとき、「ありがとう」って思うことがたくさんあります。

“あれ？違うよ先生、こうじゃないの？”って、その子が教えてくれて、「そうだったね、ありがとう」って返すことだってあります。お母さんお父さんのお話を聴いて、「なるほどそうですよね。ありがとうございます」と返すことも度々です。一緒に作り上げてきた場所と時間が今日を作ってきたんだなと感じるのが春だなと思います。

卒園から入学へ。学校という場に生活の舞台が移ると、子ども達に求められるスタンスが、少しずつ変わっていきます。

就学前に大切にしたいことは、“好き”をたくさん作ること。“好きな人”“好きな遊び”“好きな場所”をたくさん作っていくことです。人と柔らかく向き合い、一緒にいることに安心できる生活がいいですね。遊びが増えると、腰を据えて過ごせる時間や人との関わりの糸口が増えていきます。

「あの場所に行きたい」という思いは、日々の前向きな生活を作ります。そして、春夏秋冬の豊かなカレンダーが出来上がっていきます。その中で“できること”“わかること”を、楽しみながら増やしていくことができます。

学校に行くようになると、自分の力をつけながら、その力を活かし“上手く過ごしていくこと”が少しずつ求められるようになってきます。人の中で場面に合わせていくことで、無理なく世界を広げていけるようになります。バスや電車に乗って、いろいろな場所に出かけ楽しめたり、そこでの食事やトイレに困らないよう振舞えたり、そんな場慣れが生活の幅を広げ、新たな出会いの機会を作っていきます。

上手く過ごしていくためには、“遊べること”“選べること”“身のまわりのこと”の3つがポイントになります。がんばった後に“好きな遊び”が待っていれば、あてがわれたことにもしっかり取り組む姿勢を作ることができます。“好きな遊び”は、自分らしさを取り戻す時間でもあります。自分で選べるメニューがあることは、そのまま生活の豊かさにつながります。“身のまわりのこと”が自分の力になっていけば、主体的に過ごせる場面が増えます。人の手が必要だとしても、協力しあって取り組めるのであれば、どんな場面でもスムーズに過ごすことができます。

“大きくなっていく”って、そんなふうに日常の生活が移り変わっていくことなんだと思います。急ぐ必要はありません。無理して子どもに強いることでもありません。これからもコツコツ積み上げていきたいですね。

「ありがとう」って、一緒に過ごしてきた時間の確かめ合いなのかもしれません。そんな仲間をこれからも大切にしてください。迷ったとき、悩んだとき、きっとまた仲間から勇気をもらえるとと思います。これまでと、これからのプライドを持って。(R8. 3) K

